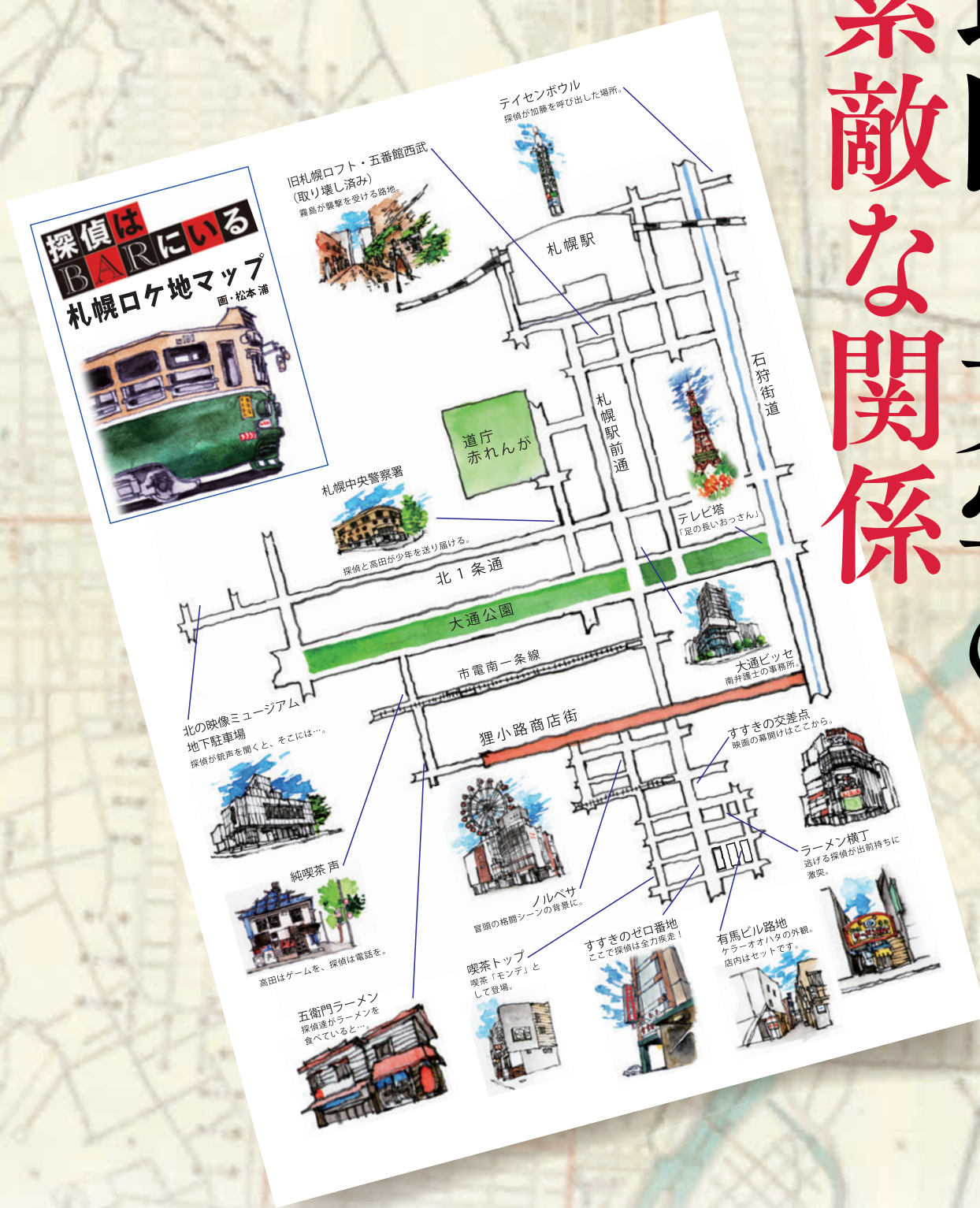


特別展

地図と文学の 素敵な関係



文芸作品の傍らにあって、旅気分を盛り上げたり、空想世界へ誘ったり。
ときには地図をみて手に汗をにぎったり、「地図って何?」と考えたり…。
まさに読者を作品世界に巻き込む名脇役。
当文学館のコレクションに分け入って、地図と文学の素敵な関係を探ります。

図:松本浦『探偵はBARにいる』札幌ロケ地マップ』2011年
提供/松本浦氏 ©東映
背景の地図(裏面も):最新札幌市街図 富貴堂発行、1952年(部分、加工)

2022年 6月18日(土)～8月14日(日)

月曜休館 ただし、7月18日(月・祝)は開館し、7月19日(火)は休館
午前9時30分～午後5時(入場は午後4時30分まで)

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、会期は変更となる場合があります。その際は、ホームページ等でお知らせします。

観覧料:一般500(400)円 高大生250(200)円 中学生以下・65歳以上無料
()内は10名以上の団体料金

中学生以下を引率する教員、学校の教育活動の一環として観覧する高校生等とその引率教員、土曜日の高校生等、児童・老人福祉施設に入所している方とその引率者、身体障害手帳等をお持ちの方とその引率者、生活保護を受けている方は無料

主催:北海道立文学館、公益財団法人北海道文学館(北海道立文学館指定管理者)、北海道新聞社
後援:札幌市、札幌市教育委員会

中島公園

北海道立文学館 特別展示室

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4

TEL. 011-511-7655 <http://www.h-bungaku.or.jp>



江國滋『阿呆旅行』(新潮社、1973年)より
地図を取り入れた目次 装丁・挿画/村上豊



安部公房『燃えつきた地図』
(新潮社、1967年)表紙 挿画/安部真知



歐陽文彬著・三好一訳『穴にかくれて十四年
中国人俘虜劉連仁の記録』(新読書社出版部、
1959年)より 劉連仁さんの逃走経路地図

展覧会では、このようなテーマによる本と掲載地図を中心に紹介します。

I 地図といっしょに出かけよう

旅、案内、冒険のお伴

II 地図のなりたちを追って

北海道地図をつくった人たちの足跡

III 重い地図

戦争、抑留など歴史上の悲劇を証言

IV 物語が立ち上がる地図

ストーリーと地図で面白さが倍增

V 手に汗にぎる地図

推理・サスペンスは地図で効果アップ

VI 「地図」ってなに？

「地図」ということばのイメージ



池澤夏樹『マシアス・ギリの失脚』
(新潮文庫、1996年)より 折込地図



佐藤泰志が創作ノートに描いた「海炭市」の地図の
1枚 函館をモデルとした街を舞台とした『海炭
市叙事』(1991年)に関連して制作されたもの
函館市文学館蔵 *複製にて展示



なかいれい(絵・けい・たろう)文『札幌市子どもの
権利条例の絵本 おばけのまふろとすてきなまち』
(札幌市、2013年)より 「すてきなまちの
せつけいず」 提供/札幌市

関連イベント *すべて申込制です

●シリーズ講演会

—文学作品と訪ねる3つの街

1「伊藤整『幽鬼の街』と小樽の地図」

講師：亀井志乃(市立小樽文学館館長)

*対面・実施日：6月26日(日)

14:00~15:00 当館講堂にて 無料

申込：6月10日(金) 9:00~ 電話で 先着25名

*オンライン申込先：6月10日(金) 9:00~こちらまで

配信期間：7月5日(火) 12:00~8月14日(日) 17:00

対面
+
オンライン

2「佐藤泰志の場所~函館から海炭市へ」

講師：有土健介(ライター、北海道文学研究)

*対面・実施日：7月10日(日)

14:00~15:00 当館講堂にて 無料

申込：6月24日(金) 9:00~ 電話で 先着25名

*オンライン申込先：6月24日(金) 9:00~こちらまで

配信期間：7月20日(水) 12:00~8月14日(日) 17:00

対面
+
オンライン

3「『夢の輪』の広がり—

福永武彦の見た『寂代=帯広』」

講師：田口耕平(北海道芽室高等学校教諭)

8月12日(金) 14:00~15:00

当館講堂にて 無料

申込：7月29日(金) 9:00~ 電話で 先着25名

対面のみ

●映画会「探偵はBARにいる」

橋本一監督/大泉洋、松田龍平、小雪/2011年
/125分/PG12/東映/DVD上映

7月9日(土) 13:30~ 当館講堂にて 無料

申込：6月23日(木) 9:00~ 電話で 先着25名

オンライン・イベントの申込先

当館ホームページ、または右の
QRコードからお申し込みください。

*インターネット環境が必要です。

*申込受付および配信は8月14日(日)で終了します。



●朗読会「文学のなかの『地図』」

7月24日(日) 14:00~15:00

当館講堂にて 無料

朗読：音夢の会

池澤夏樹作『南の島のティオ』より

「空いっぱいの大きな絵」鈴木栄子

太宰治作「地図」 穴水重雄(元NHKアナウンサー)

申込：7月8日(金) 9:00~ 電話で 先着25名

対面のみ

●ぶんがくかん特別ふろく計画

一緒に作ろう工作絵地図

ペーパークラフトで中島公園の立体地図を作ります。

7月26日(火) 14:00~15:30

講師：松本 浦(挿画家)

当館講堂にて 無料

申込：7月12日(火) 9:00~ 電話で

小学生以上でカッターが使える方

先着8名(同伴者がいる場合は2名まで)

対面のみ

●常設展のご案内／北海道の文学(通年開催)

北の大地に育まれてきた北海道の文学。自筆原稿や初版本など貴重な資料を展示。
観覧料：一般500円(400)円、高大生250円(200)円 ()内は10名以上の団体
65歳以上、中学生以下無料。高校生は土曜日無料。*詳細はお問い合わせください。

●常設展文学館アーカイブ「地図の楽しみ」7月9日(土)~9月4日(日) 常設展示室内
当館の古地図コレクションから北方地域の地図を中心に紹介します。

●次回特別展「金子みすゞの世界」8月27日(土)~10月23日(日)

ご来館のお客様へ 入館にあたってのお願い

◇発熱や体調不良などの症状のあるお客様はご来館をお控え下さい。

◇館内入口にて検温を行います。37.5度以上の発熱が認められた場合、
入館をお断りします。

◇咳エチケット、ソーシャル・ディスタンスにご協力ください。

◇マスクの着用をお願いします。

緊急連絡先記入のお願い
来館者や職員に新型コロナウイルスによる感染者が発生した場合に、その事実を
皆様にお伝えするため連絡先の登録をお願いしています。

北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4

●地下鉄南北線【中島公園駅(出口③)】または

【幌平橋駅(出口①)】から徒歩6分

●市電「中島公園通」から徒歩10分

●JRバス・中央バス「中島公園入口」から徒歩4分

【お問い合わせ】

TEL:011-511-7655

http://www.h-bungaku.or.jp

施設設置者：北海道教育委員会
(教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課(代)011-231-4111)

指定管理者：公益財団法人北海道文学館

フェイスブック、
ツイッターでも
情報発信中!

